

サプライチェーンの混乱は最悪期を脱したか？

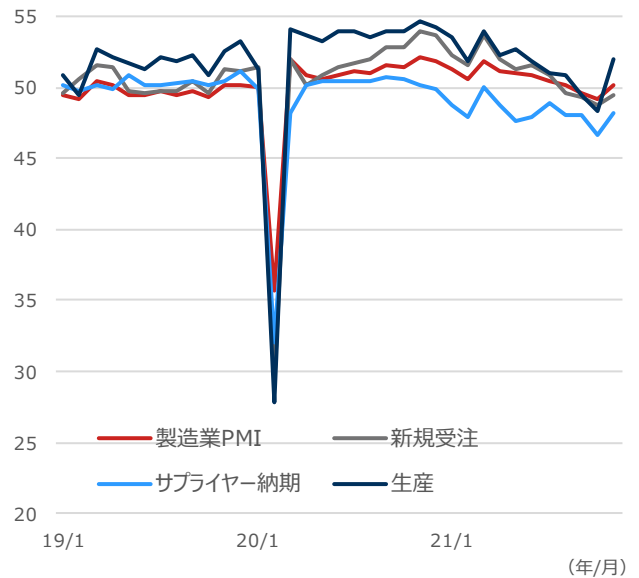
シニア・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① 中国の製造業PMIが改善

世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱に改善の兆しが出てきました。11月30日発表の11月の中国製造業PMI（購買担当者景気指数）は8か月ぶりに上昇し、好不況の分かれ目となる50を3か月ぶりに回復しました。内訳をみると「生産」が大きく回復しており、「サプライヤー納期」なども改善が確認されました（右上図）。中国では電力不足の問題により米アップルや米テスラ、日本の自動車関連企業が生産調整を余儀なくされてきました。ただ、同問題を重くみた中国当局が電力供給の回復に向けて動き出したことで、中国発のサプライチェーンの混乱は収束に向かいつつあるようにみえます。

中国の製造業PMIと内訳



期間：2019年1月～2021年11月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ポイント② 日米の自動車関連の生産も回復

サプライチェーンの混乱が最悪期を脱しつつある兆候は中国だけではなく、日米の自動車関連の生産からも確認できます。10月の米鉱工業生産指数は「自動車・同部品」が大きく上昇、日本の10月の同指数をみても「自動車工業」が前月比15.4%増と大幅な伸びとなっています（右下図）。経済産業省が公表している製造業工業生産予測指数をみると、「自動車工業」を含む「輸送機械工業」は11月に前月比35.8%増、12月は11月見込み比5.2%増と予測されています。半導体や電子部品、鉄鋼など多数の部品を要する自動車関連の生産回復は、世界のサプライチェーンが正常化に向かい出していることを示唆していると考えられます。

日米鉱工業生産指数（自動車関連）



期間：2017年1月～2021年10月、月次
・米国は「自動車・同部品」（2017年＝100）
・日本は「自動車工業」（2015年＝100）
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

新型コロナウイルスの新変異株である「オミクロン型」の感染動向を注視する必要がありますが、自動車をはじめとする製造業の生産回復は、企業業績を見る上でも支援材料といえるのではないのでしょうか。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一の見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。